

第22期

運用報告書(全体版)

グローバル・エクセレント・オープン (愛称 世界連峰)

【2019年2月26日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
皆様の「グローバル・エクセレント・オープン
(愛称 世界連峰)」は、2019年2月26日に第22期
決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決
算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申
上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社クライアント・サービス部へ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2008年2月28日から、原則として無期限です。	
運用方針	グローバル・エクセレント・マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）への投資を通じて、主として世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資し、投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。主として世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）の中から、相対的に市場シェアの高い製品・サービスを有し、収益力・財務体質・マーケティング戦略に優れ、グローバルな経済成長の恩恵が期待される企業の株式、およびこのような企業に成長していくことが見込まれる企業の株式に投資します。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・エクセレント・マザーファンド	世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	グローバル・エクセレント・マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年2月26日および8月26日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数		ストックス・ヨーロッパ600指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
18期 (2017年2月27日)	円	円	%	ポイント	%	ポイント	%	%	%	百万円
	11,194	300	19.2	2,367.34	9.0	370.01	8.2	94.2	—	125
19期 (2017年8月28日)	11,357	100	2.3	2,443.05	3.2	374.07	1.1	92.3	—	122
20期 (2018年2月26日)	12,118	300	9.3	2,747.30	12.5	381.16	1.9	90.6	—	153
21期 (2018年8月27日)	12,774	400	8.7	2,874.69	4.6	383.56	0.6	91.9	—	158
22期 (2019年2月26日)	11,797	300	△ 5.3	2,796.11	△ 2.7	372.18	△ 3.0	91.0	—	75

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) S & P 500指数およびストックス・ヨーロッパ600指数は、当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。なお、両指数とも当該日前営業日の現地終値を使用しております。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、株式組入比率および株式先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率=買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

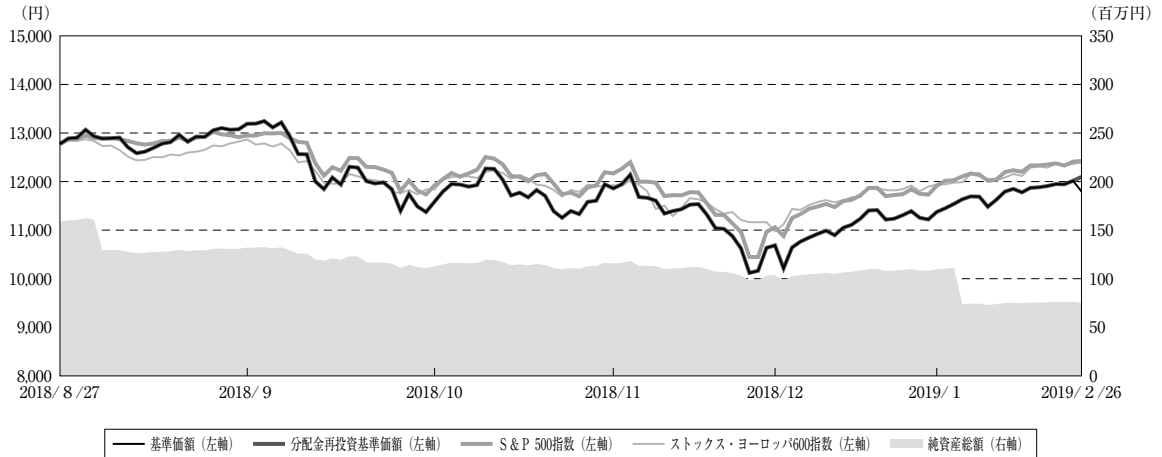
年月日	基準価額		S & P 500指数		ストックス・ヨーロッパ600指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)		
(期首) 2018年8月27日	円	%	ポイント	%	ポイント	%	%	%
	12,774	—	2,874.69	—	383.56	—	91.9	—
8月末	12,934	1.3	2,901.13	0.9	385.36	0.5	75.4	—
9月末	13,189	3.2	2,914.00	1.4	386.38	0.7	91.4	—
10月末	11,585	△ 9.3	2,682.63	△ 6.7	355.53	△ 7.3	90.7	—
11月末	11,858	△ 7.2	2,737.76	△ 4.8	358.10	△ 6.6	91.6	—
12月末	10,686	△ 16.3	2,488.83	△ 13.4	329.58	△ 14.1	86.8	—
2019年1月末	11,377	△ 10.9	2,681.05	△ 6.7	358.51	△ 6.5	93.2	—
(期末) 2019年2月26日	12,097	△ 5.3	2,796.11	△ 2.7	372.18	△ 3.0	91.0	—

(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2018年8月28日～2019年2月26日)



期首：12,774円

期末：11,797円 (既払分配金 (税引前)：300円)

騰落率：△5.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、S & P 500指数およびストックス・ヨーロッパ600指数です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首 (2018年8月27日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「グローバル・エクセレント・マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- ・収益の高成長が見込まれた米国のソフトウェア・サービス株や半導体関連株、ヘルスケア株の上昇がプラスに寄与しました。
- ・個別では、業績の伸長が見込まれる米国のSALESFORCE.COM INCやXILINX INC、VEEVA SYSTEMS INCなどの上昇がプラスに寄与しました。

（主なマイナス要因）

- ・2018年前半までの株価上昇の反動から、年後半より利益確定の動きが強まった米国の大手テクノロジー株などの下落がマイナスに影響しました。
- ・個別では、米国のALPHABET INCやAMAZON.COM INC、APPLE INCなどの下落がマイナスに影響しました。
- ・為替市場において、米ドルやユーロが円に対して下落（円高）したことがマイナス要因となりました。

投資環境

（2018年8月28日～2019年2月26日）

世界株式市場は、2018年8月下旬から10月初旬にかけては米国において主要指数が過去最高値を更新する展開となりました。しかし10月上旬から下旬にかけては米国の長期金利上昇や欧州の政治を巡る警戒感から下落に転じました。11月はおもひ合せて推移したものの、12月に入ってから、中国の通信機器大手企業の幹部逮捕を受けて、米中通商摩擦への懸念が高まったことなどから下落する展開となりました。2019年1月以降は、米連邦準備制度理事会（FRB）議長が柔軟な金融政策姿勢を示したことから投資家心理が改善し、期末にかけて反発する展開が続きました。

当ファンドのポートフォリオ

（2018年8月28日～2019年2月26日）

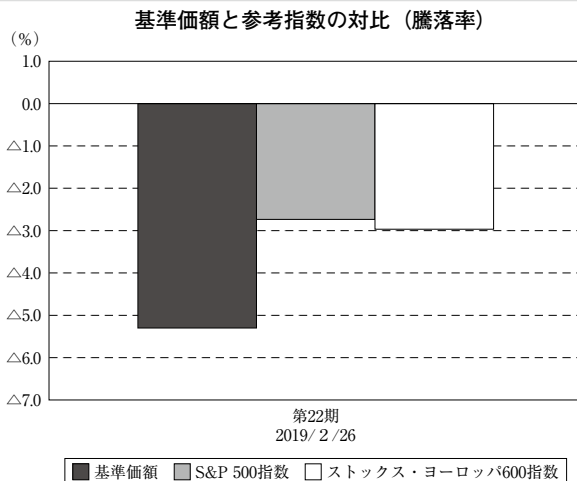
当ファンドの運用はマザーファンドを通じて行いました。

マザーファンドの運用につきましては、米中通商摩擦の影響や足元の企業業績の動向を踏まえて、米国のエネルギー株や素材株、欧州の消費関連株や素材株を売却する一方、通商摩擦の影響が軽微であると判断して米国のテクノロジー株やヘルスケア株を買い増しました。また、2018年11月以降、中国政府が財政・金融政策により景気の下支えに動き始めたことが中国・香港株式市場の支援材料になると考え、株価バリュエーション面の割安感が高いと判断した中国のネット関連株や公益株を買い付けました。期末にかけては、好業績が続くと見込まれる米国のソフトウェア・サービス株やヘルスケア株を高位とするポートフォリオを維持しました。実質株式組入比率については、概ね87～93%台で推移させました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2018年8月28日～2019年2月26日）

分配金も考慮した当ファンドの基準価額は下落となりました。当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、参考指数としているS&P 500指数、ストックス・ヨーロッパ600指数はいずれも下落しました。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

（注）参考指数は、S&P 500指数、ストックス・ヨーロッパ600指数です。

分配金

（2018年8月28日～2019年2月26日）

当ファンドは、毎年2月26日および8月26日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。

当期の分配につきましては、1万口当たり300円（税引前）としました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第22期
	2018年8月28日～ 2019年2月26日
当期分配金	300
（対基準価額比率）	2.480%
当期の収益	-
当期の収益以外	300
翌期繰越分配対象額	2,703

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

＜投資環境見通し＞

世界の株式市場は、米国では米中通商協議や景気の先行き不透明感が材料視される一方、FRBが中立的な金融政策を維持することにより米国の景気回復を先取りする動きが次第に強まると考えられることから、戻りを試す展開が続くと考えます。欧州では、域内の景気減速や域内の政治不安が経済活動を抑制すると考えられることに加え、企業景況感が低迷していることから、一進一退の展開が当面続くと予想します。中国・香港では、政府の財政・金融政策による景気刺激効果が徐々に表面化し、年央には景気が底打ちに向かうとの期待を背景に、戻りを試す展開が続くと予想します。

＜グローバル・エクセレント・オープン（愛称 世界連峰）＞

主要な投資対象である「グローバル・エクセレント・マザーファンド」の組入れを高位に維持して運用する方針です。

○グローバル・エクセレント・マザーファンド

米国や欧州など先進国の株式を中心としたポートフォリオで運用を行います。個別銘柄の選別におきましては、5G（第5世代移動通信システム）関連への投資増加が業績改善につながると予想されるテクノロジー株を中心としたポートフォリオを構築する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2018年 8 月28日～2019年 2 月26日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	96 (45) (45) (5)	0.801 (0.379) (0.379) (0.043)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	9 (9)	0.074 (0.074)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)	0.004 (0.004)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	17 (16) (1) (0)	0.144 (0.138) (0.006) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	123	1.023	
期中の平均基準価額は、11,938円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

（2018年 8 月28日～2019年 2 月26日）

○ 売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グローバル・エクセレント・マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 41,063	千円 70,000

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

（2018年8月28日～2019年2月26日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	グローバル・エクセレント・マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	140,669千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	107,094千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	1.31

（注）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

（2018年8月28日～2019年2月26日）

利害関係人との取引状況

<グローバル・エクセレント・オープン（愛称 世界連峰）>
該当事項はございません。

<グローバル・エクセレント・マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株 式	35	2	5.7	105	48	45.7

平均保有割合100.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額(A)	90千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額(B)	29千円
(B)／(A)	32.3%

（注）売買委託手数料総額は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはOKASAN SECURITIES TOKYO/JAPANです。

○組入資産の明細

(2019年2月26日現在)

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当	期	末
		口数	口数	評	価額
グローバル・エクセレント・マザーファンド		千口 83,381		千口 42,317	千円 72,757

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年2月26日現在)

項	目	当	期	末
		評価額	比	率
グローバル・エクセレント・マザーファンド		千円 72,757		% 93.5
コール・ローン等、その他		5,092		6.5
投資信託財産総額		77,849		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) グローバル・エクセレント・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(68,287千円)の投資信託財産総額(72,758千円)に対する比率は93.9%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=111.01円、1ユーロ=126.09円、1スイスフラン=110.99円、1香港ドル=14.14円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2019年2月26日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	77,849,384
コール・ローン等	5,092,264
グローバル・エクセレント・マザーファンド(評価額)	72,757,120
(B) 負債	2,818,035
未払収益分配金	1,908,091
未払信託報酬	902,648
未払利息	6
その他未払費用	7,290
(C) 純資産総額(A-B)	75,031,349
元本	63,603,064
次期繰越損益金	11,428,285
(D) 受益権総口数	63,603,064口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,797円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,1797円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は124,303,047円、期中追加設定元本額は8,123円、期中一部解約元本額は60,708,106円です。

○損益の状況（2018年8月28日～2019年2月26日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 824
受取利息	20
支払利息	△ 844
(B) 有価証券売買損益	△ 3,397,531
売買益	4,405,741
売買損	△ 7,803,272
(C) 信託報酬等	△ 909,999
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 4,308,354
(E) 前期繰越損益金	14,227,647
(F) 追加信託差損益金	3,417,083
(配当等相当額)	(4,877,197)
(売買損益相当額)	(△ 1,460,114)
(G) 計(D+E+F)	13,336,376
(H) 収益分配金	△ 1,908,091
次期繰越損益金(G+H)	11,428,285
追加信託差損益金	3,417,083
(配当等相当額)	(4,877,198)
(売買損益相当額)	(△ 1,460,115)
分配準備積立金	12,319,556
繰越損益金	△ 4,308,354

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第22期
(a) 配当等収益(費用控除後)	0円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	4,877,198円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	14,227,647円
分配対象収益(a+b+c+d)	19,104,845円
分配対象収益(1万口当たり)	3,003円
分配金額	1,908,091円
分配金額(1万口当たり)	300円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	300円
支払開始日	2019年3月4日(月)までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

<お知らせ>

該当事項はございません。

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未取配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未取利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じる場合がありますのでご了承ください。

グローバル・エクセレント・マザーファンド

第11期 運用状況のご報告

決算日：2019年2月26日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）の中から、相対的に市場シェアの高い製品・サービスを有し、収益力・財務体質・マーケティング戦略に優れ、グローバルな経済成長の恩恵が期待される企業の株式、およびこのような企業に成長していくことが見込まれる企業の株式に投資を行い、投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		S & P 500指数		ストックス・ヨーロッパ600指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	円	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
7期(2015年2月26日)	14,181	23.8	ポイント 2,113.86	% 14.6	ポイント 386.76	% 14.3	% 97.8	% —	百万円 171
8期(2016年2月26日)	12,232	△13.7	1,951.70	△ 7.7	326.54	△15.6	89.8	—	115
9期(2017年2月27日)	14,336	17.2	2,367.34	21.3	370.01	13.3	96.2	—	123
10期(2018年2月26日)	16,353	14.1	2,747.30	16.1	381.16	3.0	95.5	—	145
11期(2019年2月26日)	17,193	5.1	2,796.11	1.8	372.18	△ 2.4	93.8	—	72

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) S & P 500指数およびストックス・ヨーロッパ600指数は、当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。なお、両指数とも当該日前営業日の現地終値を使用しております。

(注) 株式先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

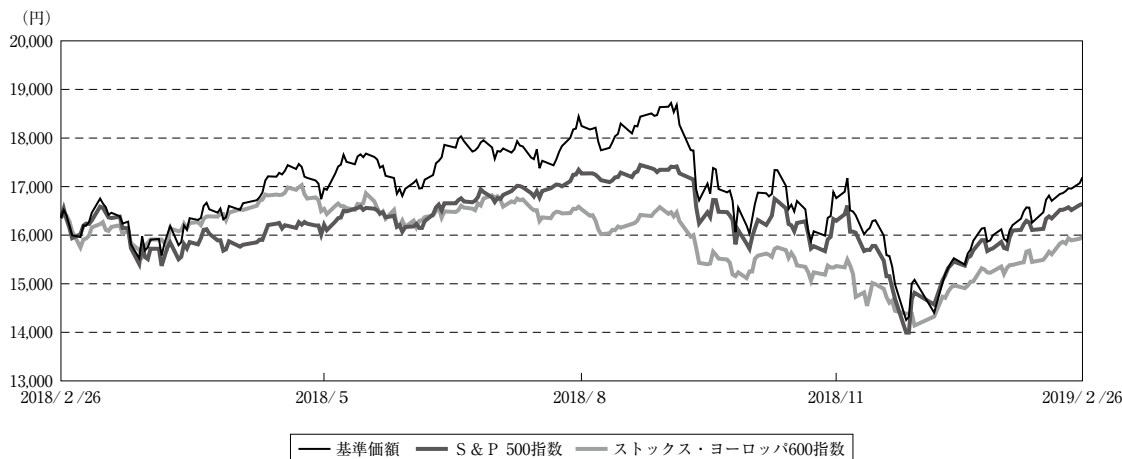
年 月 日	基 準 価 額		S & P 5 0 0 指 数		ストックス・ヨーロッパ600指数		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期 首) 2018年2月26日	16,353	—	ポイント 2,747.30	% —	ポイント 381.16	% —	% 95.5	% —
2月末	16,407	0.3	2,744.28	△0.1	382.36	0.3	95.5	—
3月末	15,908	△ 2.7	2,640.87	△3.9	370.87	△ 2.7	92.7	—
4月末	16,602	1.5	2,666.94	△2.9	383.75	0.7	94.3	—
5月末	16,963	3.7	2,724.01	△0.8	385.49	1.1	93.6	—
6月末	16,955	3.7	2,716.31	△1.1	376.87	△ 1.1	93.9	—
7月末	17,570	7.4	2,802.60	2.0	390.92	2.6	97.9	—
8月末	18,247	11.6	2,901.13	5.6	385.36	1.1	79.7	—
9月末	18,635	14.0	2,914.00	6.1	386.38	1.4	92.9	—
10月末	16,342	△ 0.1	2,682.63	△2.4	355.53	△ 6.7	93.8	—
11月末	16,762	2.5	2,737.76	△0.3	358.10	△ 6.0	94.6	—
12月末	15,080	△ 7.8	2,488.83	△9.4	329.58	△13.5	89.5	—
2019年1月末	16,101	△ 1.5	2,681.05	△2.4	358.51	△ 5.9	95.1	—
(期 末) 2019年2月26日	17,193	5.1	2,796.11	1.8	372.18	△ 2.4	93.8	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2018年2月27日～2019年2月26日)



(注) 参考指数は、S & P 500指数およびストックス・ヨーロッパ600指数です。

(注) 参考指数は、期首(2018年2月26日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・収益の高成長が見込まれた米国のソフトウェア・サービス株や半導体関連株、欧州の高級消費関連株の上昇がプラスに寄与しました。
- ・個別では、業績の伸長が見込まれる米国のSALESFORCE.COM INCやXILINX INC、フランスのLVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SEなどの上昇がプラスに寄与しました。
- ・為替市場において、米ドルが円に対して上昇(円安)したことがプラス要因となりました。

(主なマイナス要因)

- ・業績の先行き不安が高まった米国の娯楽ソフトウェア株やエネルギー株、ドイツの化学株などの下落がマイナスに影響しました。
- ・個別では、米国のACTIVISION BLIZZARD INCやHALLIBURTON CO、ドイツのBASF SEなどの下落がマイナスに影響しました。
- ・為替市場において、ユーロが円に対して下落(円高)したことがマイナス要因となりました。

投資環境

(2018年2月27日～2019年2月26日)

世界株式市場は、2018年2月下旬から10月初旬にかけては、トランプ米大統領が輸入品への追加関税導入を表明したことを受けて、世界的に通商摩擦が起こるとの懸念が株価の抑制要因となる一方、米国において景気が好調に推移するとの期待が続いたことからじり高基調で推移し、米国の主要指数が過去最高値を更新する展開となりました。しかし、10月上旬から12月下旬にかけては、米国の長期金利上昇や欧州の政治を巡る警戒感が強まったことに加え、米中通商摩擦への懸念が高まったことなどから下落する展開となりました。2019年1月以降は、米連邦準備制度理事会（F R B）議長が柔軟な金融政策姿勢を示したことから投資家心理が改善し、期末にかけて反発する展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2018年2月27日～2019年2月26日)

2018年7月にかけては、インターネットを通じた消費が進む中、オンライン決済需要の高まりが予想されることから金融決済処理を行う米国のテクノロジー株を買い増したほか、欧州通貨高による業績面の悪影響が小さいと考えられる欧州の消費関連株を買い増す一方、欧州の自動車関連株や資本財株を売却しました。8月以降は、米中通商摩擦の影響や足元の企業業績の動向を踏まえて、米国のエネルギー株や素材株、欧州の消費関連株や素材株を売却する一方、通商摩擦の影響が軽微な米国のテクノロジー株やヘルスケア株を買い増しました。11月以降は、中国政府が財政・金融政策により景気の下支えに動き始めたことが中国・香港株式市場の支援材料になると考え、中国のネット関連株や公益株を買い付けました。期末にかけては、好業績が続くと見込まれる米国のソフトウェア・サービス株やヘルスケア株を高位とするポートフォリオを維持しました。株式組入比率については、概ね89～98%台で推移させました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年2月27日～2019年2月26日)

当ファンドの基準価額は上昇となりました。当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、参考指数としているS & P 500指数が上昇する一方、ストックス・ヨーロッパ600指数は下落しました。

今後の運用方針

世界の株式市場は、米国では米中通商協議や景気の先行き不透明感が材料視される一方、F R Bが中立的な金融政策を維持することにより米国の景気回復を先取りする動きが次第に強まると考えられることから、戻りを試す展開が続くと考えます。欧州では、域内の景気減速や域内の政治不安が経済活動を抑制すると考えられることに加え、企業景況感が低迷していることから、一進一退の展開が当面続くと予想します。中国・香港では、政府の財政・金融政策による景気刺激効果が徐々に表面化し、年央には景気が底打ちに向かうとの期待を背景に、戻りを試す展開が続くと予想します。

今後の運用方針としては、米国や欧州など先進国の株式を中心としたポートフォリオで運用を行います。個別銘柄の選別におきましては、5G（第5世代移動通信システム）関連への投資増加が業績改善につながると予想されるテクノロジー株を中心としたポートフォリオを構築する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年2月27日～2019年2月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	19 (19)	0.112 (0.112)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	2 (2)	0.014 (0.014)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	38 (36) (1)	0.225 (0.217) (0.008)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
合 計	59	0.351	
期中の平均基準価額は、16,797円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2018年2月27日～2019年2月26日)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株 32 (1)	千米ドル 514 (0.47269)	百株 110 (一)	千米ドル 1,156 (0.47269)
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	4	28	5	36
	フランス	0.7	26	12	84
	イギリス	—	千イギリスポンド —	15	千イギリスポンド 6
	スイス	2	千スイスフラン 19	5	千スイスフラン 40
国	オーストラリア	5	千オーストラリアドル 15	5	千オーストラリアドル 12
	香港	265	千香港ドル 422	— (一)	千香港ドル — (0.01294)

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(注) () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2018年2月27日～2019年2月26日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	224,221千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	123,638千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	1.81

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

(2018年2月27日～2019年2月26日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
株 式	百万円 7	% 9.6	百万円 150	百万円 53	% 35.3	

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額(A)	149千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額(B)	39千円
(B)／(A)	26.3%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはOKASAN SECURITIES TOKYO/JAPAN、OKASAN INTERNATIONAL ASIA LTD/HONG KONGです。

○組入資産の明細

(2019年2月26日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末				業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
BLACKROCK INC	0.5	0.5	21	2,436	各種金融	
FEDEX CORP	1	—	—	—	運輸	
GENERAL DYNAMICS CORP	1	—	—	—	資本財	
HALLIBURTON CO	6	—	—	—	エネルギー	
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	2	—	—	—	資本財	
JPMORGAN CHASE & CO	7	1	10	1,177	銀行	
S&P GLOBAL INC	2	0.5	10	1,120	各種金融	
MASTERCARD INC - A	—	1	22	2,479	ソフトウェア・サービス	
RAYTHEON COMPANY	1	—	—	—	資本財	
SALESFORCE.COM INC	8	1	16	1,791	ソフトウェア・サービス	
SCHLUMBERGER LTD	2	—	—	—	エネルギー	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	1	1	25	2,817	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
TJX COMPANIES INC	3	1	4	548	小売	
NEXTERA ENERGY INC	2	—	—	—	公益事業	
VISA INC-CLASS A SHARES	4	1	14	1,621	ソフトウェア・サービス	
CONOCOPHILLIPS	4	—	—	—	エネルギー	
HOME DEPOT INC	2	—	—	—	小売	
MARATHON PETROLEUM CORP	3	—	—	—	エネルギー	
UNITEDHEALTH GROUP INC	1	1	26	2,937	ヘルスケア機器・サービス	
DANAHER CORP	2	1	12	1,367	ヘルスケア機器・サービス	
VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A	—	2	23	2,659	ヘルスケア機器・サービス	
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	—	2	36	4,068	小売	
DOWDUPONT INC	3	—	—	—	素材	
ACTIVISION BLIZZARD INC	6	—	—	—	メディア・娯楽	
AMAZON.COM INC	0.1	0.1	16	1,812	小売	
APPLIED MATERIALS INC	6	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
BAIDU INC - SPON ADR	—	1	16	1,831	メディア・娯楽	
COMCAST CORP-CLASS A	6	1	3	428	メディア・娯楽	
FACEBOOK INC-CLASS A	1	—	—	—	メディア・娯楽	
ALPHABET INC-CL A	0.5	0.2	22	2,480	メディア・娯楽	
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	3	1	8	996	半導体・半導体製造装置	
STARBUCKS CORP	3	—	—	—	消費者サービス	
BOOKING HOLDINGS INC	0.1	0.1	18	2,098	小売	
GOODYEAR TIRE & RUBBER CO	3	—	—	—	自動車・自動車部品	
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	—	1	9	1,014	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
XILINX INC	9	1	12	1,376	半導体・半導体製造装置	
INTUITIVE SURGICAL INC	—	1	55	6,143	ヘルスケア機器・サービス	
MICROSOFT CORP	—	1	11	1,238	ソフトウェア・サービス	
APPLE INC	3	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
ADOBE INC	—	1	25	2,870	ソフトウェア・サービス	
CELGENE CORP	1	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	

グローバル・エクセレント・マザーファンド

銘柄	期首(前期末)	当 期 末				業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円	
BIOGEN INC		—	1	32	3,635	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BROADCOM INC		2	1	27	3,092	半導体・半導体製造装置
小 計		株 数 ・ 金 額 銘柄数 < 比率 >	100 34	23 25	486 —	54,045 <74.3%>
(ユーロ・・・ドイツ)				千ユーロ		
BASF SE		4	—	—	—	素材
CONTINENTAL AG		—	1	14	1,850	自動車・自動車部品
DAIMLER AG-REGISTERED SHARES		1	3	16	2,021	自動車・自動車部品
小 計		株 数 ・ 金 額 銘柄数 < 比率 >	5 2	4 2	30 —	3,871 <5.3%>
(ユーロ・・・フランス)						
ORANGE		8	—	—	—	電気通信サービス
ALSTOM		2	1	3	476	資本財
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE		1	—	—	—	耐久消費財・アパレル
DANONE		1	—	—	—	食品・飲料・タバコ
HERMES INTERNATIONAL		—	0.2	11	1,403	耐久消費財・アパレル
小 計		株 数 ・ 金 額 銘柄数 < 比率 >	13 4	1 2	14 —	1,880 <2.6%>
(ユーロ・・・オランダ)						
AIRBUS SE		0.4	0.4	4	571	資本財
小 計		株 数 ・ 金 額 銘柄数 < 比率 >	0.4 1	0.4 1	4 —	571 <0.8%>
ユーロ計		株 数 ・ 金 額 銘柄数 < 比率 >	19 7	5 5	50 —	6,323 <8.7%>
(イギリス)				千イギリスポンド		
GKN PLC		15	—	—	—	自動車・自動車部品
小 計		株 数 ・ 金 額 銘柄数 < 比率 >	15 1	— —	— —	— <—%>
(スイス)				千スイスフラン		
CIE FINANCIERE RICHEMONT-REG		3	—	—	—	耐久消費財・アパレル
ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN		0.5	0.3	8	920	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小 計		株 数 ・ 金 額 銘柄数 < 比率 >	3 2	0.3 1	8 —	920 <1.3%>
(香港)				千香港ドル		
CLP HOLDINGS LTD		—	10	93	1,326	公益事業
HONG KONG & CHINA GAS		—	50	89	1,258	公益事業
LENOVO GROUP LTD		—	200	138	1,956	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
TENCENT HOLDINGS LTD		—	5	171	2,430	メディア・娯楽
小 計		株 数 ・ 金 額 銘柄数 < 比率 >	— —	265 4	493 —	6,972 <9.6%>
合 計		株 数 ・ 金 額 銘柄数 < 比率 >	138 44	294 35	— —	68,262 <93.8%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。ただし、株数が単位未満の場合は小数で記載。

○投資信託財産の構成

(2019年2月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 68,262	% 93.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	4,496	6.2
投 資 信 託 財 産 総 額	72,758	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(68,287千円)の投資信託財産総額(72,758千円)に対する比率は93.9%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=111.01円、1ユーロ=126.09円、1スイスフラン=110.99円、1香港ドル=14.14円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年2月26日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	72,758,773 円
コール・ローン等	4,478,166
株式(評価額)	68,262,573
未収配当金	18,034
(B) 負債	22
未払利息	5
その他未払費用	17
(C) 純資産総額(A-B)	72,758,751
元本	42,317,874
次期繰越損益金	30,440,877
(D) 受益権総口数	42,317,874口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,193円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.7193円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は88,967,874円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は46,650,000円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

グローバル・エクセレント・オープン(愛称 世界連輪)
42,317,874円

○損益の状況 (2018年2月27日~2019年2月26日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,495,392 円
受取配当金	1,499,064
受取利息	35
支払利息	△ 3,707
(B) 有価証券売買損益	6,078,151
売買益	20,432,133
売買損	△14,353,982
(C) その他費用等	△ 300,254
(D) 当期損益金(A+B+C)	7,273,289
(E) 前期繰越損益金	56,517,588
(F) 解約差損益金	△33,350,000
(G) 計(D+E+F)	30,440,877
次期繰越損益金(G)	30,440,877

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はございません。